奈良県立医科大学における精神科受診者の診断・治療・予後に関する研究

・研究の概要

精神疾患にかかることは、患者さん本人やそのご家族の苦しみはもちろんのこと、社会に及ぼす影響も大きいことが知られています。病気等による寿命短縮年数と障害を有することにより失われた健康的な生活年数を合計した障害調整生命年（Disability Adjusted Life Years; DALY）という指標によると、日本における DALY は精神疾患が 19%と第一位であり、がん（18%）や心血管障害（16%）を上回っています。原因に精神疾患が大きく関与していると考えられている自殺も 4%を占めています。もちろん精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づいて治療ガイドラインも作成されていますが、実際に臨床場面でどの程度反映され、またどの程度役に立っているかは十分にはわかっていません。そこで本研究では、精神科を受診された方の診断・治療・予後について診療録の記載をもとに調査しその実態を把握することで、今後のより適切な治療を考案することを目的としています。しかし、単一施設で研究を遂行する場合、診療実態の解釈や解析計画の妥当性検証に限界があります。そこで、奈良県立医科大学附属病院精神科の診療録情報を基盤とし、共同研究機関の専門的知見を取り入れて協働して、収集したデータや各種検査結果の解析・解釈を行います。これにより、今後の診療体制の改善、院内教育、地域連携および診療ガイドラインの実装促進に資する基礎資料を得ることを目指します。

・研究機関名および研究責任者名

奈良県立医科大学　精神医学講座　教授　岡田　俊

東京科学大学　精神科　教授　髙橋　英彦

・対象者

奈良県立医科大学附属病院精神科に昭和 56 年（1981 年）1 月 1 日から令和 18 年（2036 年）3 月 31 日までに受診された方。

・方法

受診された方の年齢、性別、利き手、既往歴、家族歴といった背景情報、精神症候、診断名、治療方法、各種検査結果などの診療録から得られる既存情報を活用し、実施許可日から令和 18 年（2036 年）3 月 31 日までの期間に検討を行います。

・倫理的配慮、個人情報の保護

本研究は文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。本研究では診療録に記載された情報のみを解析しますので、本研究のために新たに検査や治療が追加されることはありません。研究に用いるデータは、氏名など個人を

特定できる情報を取り除き、番号を付けて管理します。そのうち、病歴や検査結果など研究に必要な情報に限り、共同研究機関の東京科学大学に提供します。通常の診療で得られた内容のみを使用する研究ですので、患者さん方一人ずつの直接の同意はいただかずに、この掲示などによるみなさんへのお知らせをもって実施されます。研究の主旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。万一、この研究への参加や診療情報の利用・提供を希望されない場合、途中から参加取りやめを希望される場合には主治医に直接お申し出いただくか、下記の奈良県立医科大学精神医学講座の連絡先にご連絡ください。なお、本研究は本学医の倫理審査委員会の承認および学長許可を得て実施する研究です。

・研究の開示
本研究の結果は、個人が特定できない形式で学術会議や学術雑誌において公表する予定です。なお、本研究の成果物は本研究に登録された対象者には属しません。

・本研究に関する連絡先
奈良県立医科大学精神医学講座
山内　崇平
電話：0744-22-3051